

新型コロナウイルス感染症の影響に対しての支援策を活用しよう！ 中小企業が海外ビジネスを始めるための基礎

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して、アフターコロナとして企業経営や働き方に大きな変化が生じてきています。企業は、制度改正、思いがけない感染症などの課題を乗り越えて事業を継続していかなければなりません。いまだ先行き不透明な経営環境が続くなか、この状況を打開するためにはビジネスモデルの再構築や販路拡大、新たな販売促進が必要です。

デジタル化の進展で市場は国内のみならず海外展開も容易になり、地域の企業にとっても海外との取引は身近になりつつあります。通商白書2023では、中小企業の「輸出による外需獲得は成長実現の好機」で、海外直接投資を行っている日本企業の利益率、生産性ともに高くなっていると述べています。新型コロナウイルス感染症対策として用意されている政府の中小企業支援策を活用して、例えば事業再構築を行うことによる新たな市場への進出やグローバル展開、海外市場開拓、海外市場向けに展示会への出展の検討が考えられます。

本講習では、その第一歩に踏み出すための基礎的な注意点とどのような支援策があるのかをわかりやすく説明することで、まずは気軽に海外展開を検討いただく機会をご提供します。

開催日時

2023年10月26日(木)

午後3:00～5:00

(終了後 質疑応答)

■会場：厚木商工会議所3階 302会議室
(厚木市栄町1-16-15)

■受講料：無料(会員・非会員ともに)

■定員：20名

お申し込み方法

下記申込書に必要事項をご記入いただき、
10月23日(月)までに、FAXにてお申し込みください。
厚木商工会議所 中小企業相談所 首藤



【主な講習会内容】

- ★各種制度改正、アフターコロナの事業再生等の諸課題への対応
- ★海外展開の基礎知識
- ★異文化理解
- ★グローバル化と中小企業
- ★海外展開に伴うリスク
- ★海外展開の進め方
- ★海外進出・市場開拓に対しての政府の具体的な支援策
- ★質疑応答

【講師の紹介】

NPO厚木診断士の会 寺井 一郎 (中小企業診断士)

海外ビジネスとの係わりは総合商社に就職したことが始まりで、産業用ロボットの米国向け輸出、米国製CAD/CAM/CAEの国内営業、アジアでのICT関連M&Aなどに携わりました。英ロンドン駐在3年、米ニューヨーク駐在5年。その後退職し、父が創業した会社の社長に就任し、半導体関連会社をM&A、ソフトウェア開発会社を設立、現在3社の中小企業経営に従事しています。

自身が経営に携わっているからこそ理解できる経営者が避けて通りたくなる事象や悩みに一緒に取り組み、中小企業の経営のお役に立ちたいと考えています。



10/26 中小企業が海外ビジネスを始めるための基礎

FAX: 046-221-2152 (TEL:046-221-2153)

厚木商工会議所 行

切らずにFAXしてください。

事業所名	[TEL] [FAX]	受講者名
所在地	〒	